

2005年3月の格言

平成17年3月の格言は・・・「社長と銀行印」です！



銀行印と言うものは・・・

社長の責任において、外部への支払いを

ほしうすると言う意思表示の為に押されるものである。

企業間信用は、この銀行印によって供されるという
重要な意味があるのだ！

・・・だから・・・

社長自ら押すものである

と同時に！

他の誰にも任せてもいけないものなのである！！

昔、使用人がたくさんいた大問屋の主人でも
戸締りと火の始末だけは
主人自らやったと言う。

使用人がたくさんいるのだから
任せる事は出来るし
火の始末や戸締りなど
誰にでも出来ることである。

それにも関わらず
主人自らやると言う事は
行為自体の問題ではなくて
その意味こそ大切なのである！

銀行印も全く同じである！

社長以外の誰にやらせてもいけないことなのである！